



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月2日

東

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所  
コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 信之  
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	19,261	11.3	622	—	806	—	1,799	—
2024年3月期第1四半期	17,298	△18.3	△834	—	△670	—	△314	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,411百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 212百万円(△71.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	90.71	—
2024年3月期第1四半期	△15.84	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	123,926	58,854	47.1
2024年3月期	125,418	56,918	44.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 58,428百万円 2024年3月期 56,134百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	15.4	900	—	1,000	—	1,900	—	95.77
通期	82,600	14.4	2,200	—	1,900	—	2,100	—	105.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	20,652,400株	2024年3月期	20,652,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	813,611株	2024年3月期	813,611株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	19,838,789株	2024年3月期1Q	19,838,909株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、物価上昇などの影響はあるものの、雇用・所得環境が徐々に改善し、緩やかに回復しています。世界経済は、地政学リスクの高まりや各国の金融政策に伴う影響、中国経済の先行き懸念などが景気の下振れリスクとなり、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2021年度よりスタートしました第5次中期5ヵ年経営実行計画の方針（KIZUNA経営の推進とKIZUNA指標の達成）に沿った重点施策を進め、コア技術・素材を中核とした事業ポートフォリオ改革や新事業の創出などによる持続可能な地球環境と社会を実現するための取り組みに注力しております。特に、事業ポートフォリオ改革においては、既存事業の収益力の回復にも努めており、ロジン誘導体・サイズ剤事業等における製造拠点の統廃合を進めております。

業績面では、スマートフォンの出荷台数が回復傾向にあるなど、電子部品の需要環境は回復基調で推移しており、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂や精密研磨剤などが堅調に推移しました。また、海外において板紙向け紙力増強剤や粘着・接着剤用樹脂の販売が堅調に推移したことが業績に寄与いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は192億61百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は6億22百万円（前年同期は営業損失8億34百万円）、経常利益は8億6百万円（前年同期は経常損失6億70百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益9億79百万円の計上や当該売却益に伴う課税所得の増加による法人税等調整額3億26百万円の計上などにより17億99百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億14百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### <機能性コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、電子部品などの需要が徐々に回復基調で推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、今後の需要拡大に向けて人的・設備的な経営資源を積極的に投入している機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は、スマートフォンやディスプレイ関連分野での需要回復が進み、販売が増加しました。

その結果、売上高は40億59百万円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益は4億29百万円（前年同期はセグメント利益33百万円）となりました。

#### <製紙・環境事業>

製紙業界は、中国の段ボール原紙工場の稼働が低い状況にあり、また国内においても市況の低迷が続いており、厳しい需要環境となりました。このような環境のもと、当事業におきましては、アジアでの需要の創出に注力している板紙向け紙力増強剤が堅調に推移したことなどにより、大幅に増益となりました。

その結果、売上高は53億14百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は5億83百万円（同555.0%増）となりました。

#### <粘接着・バイオマス事業>

粘着・接着剤業界は、国内の自動車関連分野では一部で生産停止の影響が引き続き懸念されますが、テープやシート類用途などの需要は堅調に推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、アジア地域を中心にロジン系の粘着・接着剤用樹脂の販売が堅調に推移しましたが、水素化石油樹脂は、千葉アルコン製造株式会社の設備不具合からの復旧に時間を要し収益を押し下げました。

その結果、売上高は65億60百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント損失は4億93百万円（前年同期はセグメント損失9億44百万円）となりました。

<ファイン・エレクトロニクス事業>

電子工業業界は、電子部品などの需要が徐々に回復基調で推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、将来に向けて生産能力増強を進めている半導体関連先端材料のファインケミカル製品や精密研磨剤などが堅調に推移しました。

その結果、売上高は33億9百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は2億70百万円（前年同期はセグメント損失98百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億92百万円減少し、1,239億26百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が10億92百万円、投資有価証券が6億11百万円増加したものの、現金及び預金が17億56百万円、棚卸資産が4億65百万円、有形固定資産が5億31百万円減少したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が17億75百万円、短期借入金が5億77百万円、長期借入金が6億80百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ34億28百万円減少し、650億71百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ19億35百万円増加し、588億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に発表しました2025年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年8月2日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(参考)

2025年3月期第2四半期業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	40,000	700	500	1,400	70.57
今回修正予想(B)	40,000	900	1,000	1,900	95.77
増減額(B-A)	0	200	500	500	—
増減率(%)	0.0	28.6	100.0	35.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	34,672	△1,827	△1,451	△753	△37.96

2025年3月期通期業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	82,000	2,000	1,500	1,800	90.73
今回修正予想(B)	82,600	2,200	1,900	2,100	105.85
増減額(B-A)	600	200	400	300	—
増減率(%)	0.7	10.0	26.7	16.7	—
(ご参考)前期通期実績 (2024年3月期)	72,222	△2,617	△2,412	△1,042	△52.56

千葉アルコン製造株式会社の減価償却費

単位：百万円

2022年度	2023年度	2024年度(予想)	2025年度(予想)
1,043	2,315	約1,900	約1,600

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,578	9,821
受取手形及び売掛金	25,683	26,775
電子記録債権	2,504	2,397
商品及び製品	12,423	12,365
仕掛品	1,603	1,447
原材料及び貯蔵品	9,267	9,015
その他	1,215	961
貸倒引当金	△116	△117
流動資産合計	64,159	62,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,723	17,623
機械装置及び運搬具（純額）	14,126	13,652
土地	4,996	4,995
建設仮勘定	1,969	2,062
その他（純額）	1,136	1,086
有形固定資産合計	39,952	39,420
無形固定資産	1,529	1,485
投資その他の資産		
投資有価証券	11,200	11,811
退職給付に係る資産	6,087	6,172
繰延税金資産	286	255
その他	354	366
貸倒引当金	△79	△82
投資その他の資産合計	17,850	18,523
固定資産合計	59,332	59,429
繰延資産		
開業費	1,927	1,829
繰延資産合計	1,927	1,829
資産合計	125,418	123,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,478	7,702
電子記録債務	1,403	1,370
短期借入金	18,512	17,935
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	434	662
未払消費税等	100	147
賞与引当金	1,190	623
役員賞与引当金	-	10
修繕引当金	732	441
事業整理損失引当金	110	82
資産除去債務	-	158
設備関係支払手形	297	199
その他	6,146	6,015
流動負債合計	43,406	40,349
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	13,875	13,195
繰延税金負債	3,847	4,304
退職給付に係る負債	299	304
資産除去債務	1,919	1,770
その他	151	147
固定負債合計	25,093	24,722
負債合計	68,500	65,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	38,927	40,250
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	44,623	45,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,173	5,619
為替換算調整勘定	3,530	4,134
退職給付に係る調整累計額	2,807	2,727
その他の包括利益累計額合計	11,511	12,482
非支配株主持分	783	425
純資産合計	56,918	58,854
負債純資産合計	125,418	123,926



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	17,298	19,261
売上原価	14,585	15,002
売上総利益	2,712	4,259
販売費及び一般管理費	3,547	3,637
営業利益又は営業損失(△)	△834	622
営業外収益		
受取利息	21	30
受取配当金	77	79
不動産賃貸料	10	13
為替差益	85	228
その他	59	45
営業外収益合計	254	397
営業外費用		
支払利息	66	96
開業費償却	2	99
その他	20	17
営業外費用合計	90	213
経常利益又は経常損失(△)	△670	806
特別利益		
固定資産売却益	4	979
投資有価証券売却益	38	314
特別利益合計	43	1,293
特別損失		
固定資産除売却損	36	18
特別損失合計	36	18
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△663	2,081
法人税、住民税及び事業税	135	370
法人税等調整額	△25	326
法人税等合計	109	696
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△773	1,384
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△459	△414
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△314	1,799

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△773	1,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	850	445
為替換算調整勘定	189	660
退職給付に係る調整額	△55	△79
その他の包括利益合計	985	1,027
四半期包括利益	212	2,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	648	2,770
非支配株主に係る四半期包括利益	△436	△358

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△663	2,081
減価償却費	1,370	1,294
開業費償却額	2	99
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△456	△574
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	5
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△66	△83
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	-	△31
固定資産除売却損益(△は益)	32	△960
投資有価証券売却損益(△は益)	△38	△314
受取利息及び受取配当金	△99	△109
支払利息	66	96
売上債権の増減額(△は増加)	537	△690
棚卸資産の増減額(△は増加)	△36	677
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,459	△1,907
未払消費税等の増減額(△は減少)	195	214
その他	△592	△121
小計	△1,198	△317
利息及び配当金の受取額	97	111
利息の支払額	△63	△96
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△88	△162
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,253	△465
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△30	676
有形固定資産の取得による支出	△1,182	△689
有形固定資産の売却による収入	0	768
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却による収入	39	355
無形固定資産の取得による支出	△13	△6
繰延資産の取得による支出	△9	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△1	3
その他	△0	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,210	1,070
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,970	△529
長期借入金の返済による支出	△355	△875
配当金の支払額	△476	△476
その他	△22	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,117	△1,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	103	136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,242	△1,144
現金及び現金同等物の期首残高	9,286	9,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,043	8,020

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,536	4,708	6,223	2,812	17,281	17	17,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	7	7
計	3,536	4,708	6,223	2,812	17,281	24	17,306
セグメント利益又は損失(△)	33	89	△944	△98	△920	7	△913

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△920
「その他」の区分の利益	7
全社費用の配賦差額(注) 1	223
コーポレート研究開発費用(注) 2	△96
営業外損益(注) 3	△47
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△834

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,059	5,314	6,560	3,309	19,243	18	19,261
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	7	7
計	4,059	5,314	6,560	3,309	19,243	25	19,269
セグメント利益又は損失(△)	429	583	△493	270	790	8	798

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	790
「その他」の区分の利益	8
全社費用の配賦差額(注) 1	89
コーポレート研究開発費用(注) 2	△93
営業外損益(注) 3	△172
四半期連結損益計算書の営業利益	622

- (注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。  
 2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。  
 3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	2,864	2,804	2,704	1,858	10,231	17	10,249
中国	412	776	1,369	517	3,074	—	3,074
アジア(中国除く)	236	1,128	972	375	2,712	—	2,712
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	23	—	1,177	61	1,262	—	1,262
顧客との契約から生じる収益	3,536	4,708	6,223	2,812	17,281	17	17,298
外部顧客への売上高	3,536	4,708	6,223	2,812	17,281	17	17,298

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	3,271	2,857	2,692	2,120	10,942	18	10,961
中国	470	998	1,796	511	3,776	—	3,776
アジア(中国除く)	282	1,458	1,113	637	3,491	—	3,491
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	34	—	957	39	1,032	—	1,032
顧客との契約から生じる収益	4,059	5,314	6,560	3,309	19,243	18	19,261
外部顧客への売上高	4,059	5,314	6,560	3,309	19,243	18	19,261

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。